

平成22年度 事業報告書並びに決算書

自 平成22年4月1日

至 平成23年3月31日

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

目 次

1	事業報告書	1
2	収入支出計算書総括表	55
3	一般会計資金収支計算書	56
4	一般会計事業活動収支計算書	91
5	一般会計貸借対照表	129
6	一般会計財産目録	132
7	生活福祉資金特別会計収支計算書	144
8	生活福祉資金特別会計貸借対照表	147
9	要保護世帯向け不動産担保型生活資金特別会計収支計算書	149
10	要保護世帯向け不動産担保型生活資金特別会計貸借対照表	150
11	生活福祉資金貸付事務費特別会計収支計算書	151
12	生活福祉資金貸付事務費特別会計貸借対照表	154
13	生活福祉資金特別会計・要保護世帯向け不動産担保型生活資金特別会計・ 生活福祉資金貸付事務費特別会計財産目録	155
14	臨時特例つなぎ資金貸付事業特別会計収支計算書	163
15	臨時特例つなぎ資金貸付事業特別会計貸借対照表	165
16	臨時特例つなぎ資金貸付事業特別会計財産目録	166
17	共済事業特別会計資金収支計算書	170
18	共済事業特別会計事業活動収支計算書	172
19	共済事業特別会計貸借対照表	174
20	共済事業特別会計財産目録	175
21	福島県運営適正化委員会特別会計資金収支計算書	182
22	福島県運営適正化委員会特別会計事業活動収支計算書	184
23	福島県運営適正化委員会特別会計貸借対照表	186

24	福島県運営適正化委員会特別会計財産目録	- - - - -	187
25	福祉サービス評価等事業特別会計資金収支計算書	- - - - -	192
26	福祉サービス評価等事業特別会計事業活動収支計算書	- - - - -	194
27	福祉サービス評価等事業特別会計貸借対照表	- - - - -	196
28	福祉サービス評価等事業特別会計財産目録	- - - - -	197
29	介護福祉士等修学資金貸付事業特別会計資金収支計算書	- - - - -	203
30	介護福祉士等修学資金貸付事業特別会計事業活動収支計算書	- - - - -	205
31	介護福祉士等修学資金貸付事業特別会計貸借対照表	- - - - -	207
32	介護福祉士等修学資金貸付事業特別会計財産目録	- - - - -	208
33	貸借対照表（総括）	- - - - -	211
34	財産目録（総括）	- - - - -	213

平成 22 年度社会福祉法人福島県社会福祉協議会事業報告書

平成 22 年度は、依然厳しい経済・雇用情勢のなか、市町村社協の活動支援、住民の福祉力を高めていくための意識啓発への取り組みなど年度当初に掲げた重点事業を中心として、市町村社協、社会福祉施設、民生児童委員協議会等をはじめとする関係機関・団体との連携のもと、各種事業への取り組みを推進した。

3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震の発生に対しては、3 月 11 日に県社協災害ボランティアセンターを設置し、市町村社協及び社会福祉施設の被災状況等についての情報収集にあたった。3 月 14 日には、日本赤十字社福島県支部、社団法人日本アマチュア無線連盟福島県支部、NPO 法人ハートネットふくしま、社会福祉法人福島県共同募金会、福島県関係各課、本会より構成される県災害ボランティアセンターが設置され、市町村ごとに順次設置された災害ボランティアセンターの立上げや運営支援、ボランティア活動のコーディネート業務について、中央共同募金会による「災害救援プロジェクトチーム」をはじめ、関東ブロック及び九州ブロックからの社協職員の応援を得て取り組んでいる。

また、被災世帯に対しての緊急一時的な生活費として、3 月 28 日から緊急小口資金（特例貸付）の貸付を市町村社会福祉協議会をはじめ、関東ブロック及び九州ブロックからの社会福祉協議会・共同募金会職員の応援を得て実施した。

1 調査研究・提言活動

1. 活動推進計画の策定 新規

(1) 策定委員会の開催 6 回

2. 総合企画委員会の開催

(1) 第 1 回

期 日 平成 22 年 9 月 13 日

会 場 県総合社会福祉センター

内 容 委員長、副委員長の互選、新・活動推進計画について

(2) 第 2 回

期 日 平成 22 年 10 月 26 日

会 場 県総合社会福祉センター

内 容 新・活動推進計画（案）、部会・協議会の役員・委員への意見聴取の仕方

(3) 第 3 回

期 日 平成 22 年 12 月 1 日

会 場 県総合社会福祉センター

内 容 新・活動推進計画（案）

3. 「福島県社会福祉協議会・10 年小史」策定に向けた準備 （新規）

(1) 編集方針・構成の検討

4. 調査研究活動の実施

(1) 福祉職場の労働実態調査の実施

(2) 福祉従事者のメンタルヘルスに関する調査の実施 （新規）

5. 国・県保健福祉部及び県議会への予算要望等の取りまとめ

(1) 各政党要望聴取会への予算要望 （9 月 10 日）

(2) 県保健福祉部への予算要望 （10 月 6 日）

(3) 県保健福祉部との個別懇談会 （10 月 28 日・29 日）

6. 顕彰表彰事業

(1) 第 64 回福島県社会福祉大会の開催

期 日 8 月 27 日 (金)

会 場 喜多方プラザ文化センター

参加者数 1,159 名

プログラム ア 記念講演

演題「素直に 明るく感謝の心が

～希望に通じます～」

講師 森のイスキア主宰 佐藤初女 氏

イ 式典 (ア) 県知事感謝

(イ) 瓜生岩子賞

(ウ) 県社会福祉大会会長表彰・感謝

(エ) 大会宣言 (案) 朗読

(2) 第 18 回「瓜生岩子賞」の贈呈

①推薦依頼 4 月 30 日付け推薦依頼

②推薦先 県保健福祉事務所、県いわき地方振興局、市町村行政、市町村
社協、施設経営法人、県立社会福祉施設、県段階の民間福祉団
体

③表彰審査会 7 月 15 日

④顕彰期日 8 月 27 日 (第 64 回福島県社会福祉大会の席上)

⑤受賞者 黒須敦子 氏 (子どもや女性等の権利擁護の向上)

2 総合相談活動

1. 相談活動の充実

(1) 各実施事業を通しての相談対応の強化

(2) 専門機関との連携強化

2. 新しい相談ニーズへの対応

(1) メンタルヘルスへの支援検討

3 広報、情報・提供活動

1. 福祉従事者・関係者及び県民への広報・情報提供活動の実施

(1) 総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」の発行 (毎月 11,000 部)

4 月号～3 月号

〈共同募金配分金事業〉

(2) ホームページによる社会福祉関係情報の提供

2. 県社協事業活動紹介パンフレット (2,500 部) の作成

4 ボランティア住民参加活動の支援

1. ボランティアや NPO 等住民活動支援

(1) ボランティア活動推進委員会

① ボランティア活動推進委員会

- | | | |
|-------|------|---|
| (第1回) | 期 日 | 8月6日 |
| | 会 場 | 福島県総合社会福祉センター |
| | 協議事項 | ア 平成21年度ボランティア活動推進事業の事業報告について
イ 平成22年度ボランティア活動推進事業の事業計画・経過報告について
ウ その他 |
| (第2回) | 期 日 | 3月4日 |
| | 会 場 | 福島県総合社会福祉センター |
| | 協議事項 | ア 平成22年度福島県社会福祉協議会ボランティア活動振興事業の経過報告について
イ 平成23年度福島県社会福祉協議会ボランティア活動振興事業の事業計画(案)について
ウ 小委員会における協議内容について |

② ボランティア活動推進委員会小委員会

- | | | |
|-------|------|--|
| (第1回) | 期 日 | 8月6日 |
| | 会 場 | 福島県総合社会福祉センター |
| | 協議事項 | ア 前回までのふりかえり
イ 市町村ボランティアセンターの使命と役割
ウ その他 |
| (第2回) | 期 日 | 3月4日 |
| | 会 場 | 福島県総合社会福祉センター |
| | 協議事項 | ア これまでのふりかえり |

(2) 市町村社協ボランティアセンター等との連携、協働、支援

① うつくしまコラボネットワーク会議(中間支援型組織ネットワーク会議)

- | | | |
|-------|------|--|
| (第1回) | 期 日 | 6月16日 |
| | 会 場 | 福島県農業総合センター |
| | 参加人数 | 24名 |
| | 内 容 | ワークショップ
「相談援助技術をブラッシュアップ!! Part1」
講師 Gin Rickey Facilitation (ジーン・リッキー・ファシリテーション)
代表/臨床心理士 後藤 真 氏 |
| (第2回) | 期 日 | 1月28日 |
| | 会 場 | ビッグパレットふくしま |
| | 参加人数 | 8名 |
| | 内 容 | ワークショップ
「相談援助技術をブラッシュアップ!! Part2」
講師 Gin Rickey Facilitation (ジーン・リッキー・ファシリテーション)
代表/臨床心理士 後藤 真 氏 |

② 市町村ボランティアセンター活動事業実践事例集の作成・配布

作成数 250部

配布先 市町村社会福祉協議会、市民活動支援センター、関係機関等

③ ボランティア、NPO 等住民活動団体の支援強化

④関係機関等の協力援助

ア ボランティア活動を取り組むにあたっての支援

(5月7日 福島県立東高等学校生徒会)

(5月26日 //)

(5月31日 //)

イ 第1回福祉救援ボランティア連絡協議会(8月30日 二本松市)

ウ 福島県消防学校情操教育「ボランティアについて」(9月3日 福島市)

エ 南相馬市太田地区福祉委員会「県内における小地域福祉活動」

(12月3日 福島市)

オ 福島県県北保健福祉事務所「服薬支援ボランティア講座」

(1月12日 福島市)

カ 福島県消防学校情操教育「ボランティアについて」(3月11日 福島市)

(3) 養成研修の実施

①ボランティアコーディネーター研修会(コミュニティソーシャルワーク研修会との併催)

期 日 12月9日・10日

会 場 福島県総合社会福祉センター

参加者数 11名

内 容 講義 「コミュニティソーシャルワークの概念と機能」
・演習Ⅰ「コミュニティソーシャルワークにおけるアセスメント」
演習Ⅱ「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング」
演習Ⅲ「コミュニティソーシャルワークにおけるチームアプローチ」

講師 立正大学大学院社会福祉学研究科

教授 國光 登志子 氏

②ボランティア受入福祉施設等担当者研修会

※2回実施(2回とも同内容で実施)

期 日 1月21日

会 場 ビッグパレットふくしま

参加者数 23名(第1回目)、38名(第2回目)

内 容 講義・演習

「ボランティア受入をより良いものにしていくために」

講師 岩手県立大学社会福祉学部

准教授 山本 克彦 氏

③福祉の地域づくりのための市民活動支援講座

期 日 1月15日

会 場 郡山市総合福祉センター

参加者数 25名

内 容 講義・ワークショップ

「ちょっと一休み!〜一度立ち止まって振り返ってみませんか〜」

講師 日本ボランティアコーディネーター協会

研究開発委員長 小原 宗一 氏

④シニアボランティア講座

(第1回) 期 日 11月13日

会 場 白信イベントホール

共 催 社会福祉法人 白河市社会福祉協議会

特定非営利活動法人 しらかわ市民活動支援会

参加者数 約120名

内 容 講演「上手に年齢をとるための人生設計」

講師 (財)長寿社会開発センター

常務理事 石黒 秀喜 氏
 体験発表「気になるあの人に聞いてみよう
 地域で楽しく暮らすコツ」
 発表者 ボランティア活動者 原 節子 氏
 藤本 崇 氏
 コメンテーター (財) 長寿社会開発センター
 常務理事 石黒 秀喜 氏
 進行役 特定非営利活動法人しらかわ市民活動支援会
 副理事長 樋口 葉子 氏

(第2回) 期 日 12月11日
 会 場 ステーションプラザふたば
 参加者数 約120名
 共 催 社会福祉法人 双葉町社会福祉協議会
 社会福祉法人 大熊町社会福祉協議会
 社会福祉法人 富岡町社会福祉協議会
 参加者数 約120名
 内 容 講演「ボランティアは健康な心身づくりから」
 講師 (財) 総合南東北病院リハビリテーション科
 作業療法士 若林 由紀子 氏
 テーマ劇「ボランティアに行ってみよう!」

⑤災害救援ボランティアコーディネーター養成研修会

(基礎編) 期 日 2月9日
 会 場 福島県総合社会福祉センター
 参加者数 20名
 内 容 講義・演習「初動体制を整備しよう!」
 講師 特定非営利活動法人ディ・コレクティブ
 代表理事 千川原 公彦 氏
 講義・演習「組織内の役割分担と連携」
 講師 特定非営利活動法人
 にいがた災害ボランティアネットワーク
 事務局長 李 仁鉄 氏
 活動紹介・ふりかえり 「被災地における行茶活動」
 進行役 全国曹洞宗青年会 会長 久間 泰弘 氏

(ステップアップ編)

期 日 2月10日
 会 場 福島県総合社会福祉センター
 参加者数 18名
 内 容 講義・演習「災害ボランティアセンターの
 マニュアルを作成しよう」
 講師 特定非営利活動法人ディ・コレクティブ
 代表理事 千川原 公彦 氏
 特定非営利活動法人
 にいがた災害ボランティアネットワーク
 事務局長 李 仁鉄 氏
 ふりかえり

(4) 福祉教育の推進

①地域の福祉力セミナー

(第1回) 期 日 7月8日
 会 場 三春交流館「まほら」
 参加人数 約200名

内 容 ア 説明「あんしんサポートと成年後見制度って
どんな制度？」
福島県社会福祉協議会 地域福祉課主査
安達 弘和 氏
イ テーマ劇「ヤスオじいちゃんの困りごと」
ウ シンポジウム「みんなで学ぼう！
あんしんサポートと成年後見制度」
コーディネーター 福島県介護福祉専門学校講師
松本 喜一 氏
事例発表者①「あんしんサポートの利用と援助」
田村市社会福祉協議会
事例発表者②「成年後見制度の申し立てと援助」
社団法人成年後見センター
リーガルサポートふくしま
支部長 伊藤 栄紀 氏
事例発表者③「住民団体による成年後見制度
学習会の実施について」
成年後見制度研修委員会
代表 遠藤 喜恵 氏

(第2回) 期 日 12月17日
会 場 棚倉町文化センター(倉美館)
参加者数 約150名
内 容

ア 説明「あんしんサポートと成年後見制度って
どんな制度？」
福島県社会福祉協議会 地域福祉課主査
安達 弘和
イ テーマ劇「ヤスオじいちゃんの困りごと」
ウ 事例発表「事例から学ぼう！あんしんサポートと
成年後見制度」
事例発表①「あんしんサポートによる援助と
その課題」
塙町社会福祉協議会
書記兼福祉活動専門員 広木令子 氏
事例発表②「成年後見制度による支援とその課題」
小針藤助司法書士事務所
所長 小針 藤助 氏

②福祉教育推進者セミナー

期 日 2月2日
会 場 郡山市総合福祉センター
参加者数 95名
内 容 講義「住民主体の地域福祉を推進するために」
講師 福島大学行政政策学類 准教授 鈴木 典夫 氏
実践活動発表
発表者 岩手県奥州市社会福祉協議会
企画調整課長 昆野 宏彦 氏
鮫川村地域包括支援センター所長 前田 春江 氏
進行役 福島大学行政政策学類 准教授 鈴木 典夫 氏

③地域で取組む福祉教育モデル事業<共同募金配分金事業>

指 定 田村市、南相馬市社会福祉協議会
指定期間 平成22年度・23年度

巡回訪問 南相馬市 10月7日、10月28日、2月28日

田村市 10月14日、1月7日

④市町村社協サマーショートボランティアスクールへの支援

(5) 啓発活動の実施

①ふくしまボランティアフェスティバルの開催 <共同募金配分金事業>

(共催 NHK福島放送局)

期 日 9月18日

会 場 パルセいいざか(福島市)

共 催 NHK福島放送局

参加者数 650名

内 容 ア 記念式典

イ 記念講演「世界の山々をめざして」

講師 登山家 田部井 淳子 氏

ウ 分科会A「生活を支えるボランティア」

進行役 合同会社泉恵造研修企画工房 代表 泉 恵造 氏

シンポジスト 特定非営利活動法人支え合う会みのり

理事長 藤森 良子 氏

ボランティアルームサロン「たくざり」

代表 関合 征子 氏

分科会B「子育て支援ボランティア

～移り変わる子育て支援～」

進行役 会津大学短期大学部社会福祉学科

准教授 外崎 紅馬 氏

シンポジスト NPO法人新座子育てネットワーク

代表 坂本 純子 氏

NPO法人やまがた育児サークルランド

子育てランドあ〜べ

施設長 高橋 みちよ 氏

分科会C Let's チャレンジ「バルーンアート」

講 師 風船工房 MORITTO

バルーンプランナー 森 真由美 氏

②総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」での広報

③ホームページでの情報提供、広報啓発

(6) 各種災害ボランティア等に関する支援

①市町村社会福祉協議会広域災害対策モデル事業<共同募金配分金事業> 重点

ア 指 定 二本松市社会福祉協議会

イ 指定期間 平成22年度(1年間)

ウ 巡回訪問 7月1日、8月11日、1月26日

②災害ボランティア本部設置運営訓練の実施 (9月1日)

③災害ボランティア本部に必要な器具・機材の配備<共同募金配分金事業>

災害時に必要となるパソコン、作業衣、ヘルメット、発電機等の機器を購入した。

④県総合防災訓練に対する協力援助

ア 県総合防災訓練第1回関係機関会議 (6月8日 相馬市)

イ 県総合防災訓練第2回関係機関会議 (7月28日 相馬市)

ウ 災害ボランティアセンター支援養成講習会に対する協力

(8月19日 相馬市)

エ 県総合防災訓練

(9月1日 相馬市)

(7) ボランティア活動保険等への加入促進

(8) 会議・研修会等への参加

- ①都道府県・指定都市社会福祉協議会 部・課・所長会議
(4月26日～27日 東京都)
- ②北海道・東北ブロック災害時の相互支援に関する協定書についての協議
(6月1日 宮城県)
- ②ボランティアコーディネーター基礎研修 (6月15日 東京都)
- ③社協ボランティア・市民活動センター担当職員セミナー
(10月28日～29日 東京都)
- ④災害ボランティアセンター運営支援者研修 (12月13日～15日 東京都)
- ⑤福島県災害ボランティア連絡協議会 (1月20日 福島市)
- ⑥北海道・東北ブロック災害時の相互支援に関する協定書についての勉強会
(2月18日 宮城県)

4 ボランティア住民参加活動への支援

2. 長寿社会推進センター事業

(1) 長寿社会推進センター運営委員会の開催

開催期日 3月8日 福島市

内 容 ・平成22年度事業実施状況について
・平成23年度事業計画（案）について

(2) 普及啓発事業の実施

①総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま（別冊）」による広報

発行部数 毎月11,000部

配布先 県、市町村、市町村社協、市町村老人クラブ連合会等

②第21回福島県シルバー美術展の開催

開催期間 9月2日～9月6日（5日間）

会 場 福島市（福島県文化センター）

出展作品数 417点

来場者数 2,089人

③第14回いきいき長寿県民賞の表彰

募集期間 4月1日～5月31日

応募件数 個人54件、団体23件 計77件

表彰式 8月12日 福島市（福島県文化センター）

受賞者 個人10名

(3) 養成育成事業の実施

①いきいきシニア活動サポート事業

ア サザンクロスクラブへの助成金交付

6方部24事業 1,200千円

②高齢者大学の共催運営費補助

ア 共催負担金の支出 3校1,000千円

運営経費として共催負担金を交付

交付先 郡山市あさかの学園、あいづわくわく学園、
いわきシルバーにこにこ学園

イ 福島県シニア大学交歓会 7月23日 郡山市

(4) 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会への参加

①全国会議、ブロック会議

ア 総会 第1回 7月15日 東京都

第2回 2月22日 東京都

イ 北海道・東北ブロック会議 2月1日～2日 宮城県

②研修会

ア サラリーマンシニア支援対策連絡協議会 3月3日～4日 東京都

(5) 自分史編纂支援事業

①簡単、手づくり 誰にもできる自分史講座

ア 福島市 11月15日・24日、12月1日 参加者 24人

イ 白河市 11月18日・26日、12月3日 参加者 15人

ウ 南相馬市 11月22日・29日、12月9日 参加者 7人

(6) 高齢者総合相談センターの運営

相談件数 合計 1,180件（前年比 343件減）

①一般相談

相談件数 908件（前年比 294件減）

内訳 ア 窓口相談 891件（281件減）

イ 巡回相談会 9件（21件減）

ウ 出張先 1件（1件増）

エ 特別相談会 7件 (7件増)

②専門相談

相談件数 272件 (前年比 49件減)

内訳 ア 窓口相談 166件 (44件減)
イ 巡回相談会 38件 (32件減)
ウ 出張先 49件 (8件増)
エ 特別相談会 19件 (19件増)

③巡回相談

田村市ほか9市町村 47件 (再掲)

内訳 ア 一般相談 9件
イ 専門相談 38件

④出張相談

相談件数 50件 (再掲)

内訳 ア 一般相談 1件
イ 専門相談 49件

イベント名

・うつくしま県民健康大会 8月12日 福島市
・街かど高齢者困りごとなんでも相談会 2月24日 福島市

⑤特別相談会「シルバー110番なんでも相談」 新規

開催期日 9月26日

会場 郡山市 (中央公民館)

内容 専門相談 (法律、税金等) 及び一般相談

相談件数 26件 (再掲)

内訳 ア一般相談 7件
イ 専門相談 19件

⑥新聞等による広報

ア パンフレット等を市町村社協ほか関係機関に配布

パンフレット 20,000枚、ポスター900枚

イ シルバー情報ふくしま (専門相談・巡回相談会日程表) を市町村社協ほか関係機関に配布 30,000枚

ウ 巡回相談会チラシを開催市町村の各戸に配布 57,200枚

エ イベント情報誌を活用し、相談業務の情報を提供 (県北方部) 12回

オ 相談の案内を福島民報・福島民友新聞に掲載 各2回

カ シルバー110番なんでも相談会チラシ等を配布
チラシ15,000枚、ポスター700枚

⑦研修会等への参加

ア そうだんネット福島連絡会 6月30日 福島市

イ 県政相談員研修会 7月1日 福島市

ウ 家庭裁判所「成年後見制度説明会」 10月5日 福島市

エ 認知症の人と家族への援助をすすめる全国研究集会 11月14日 仙台市

オ NHKフォーラム「統合失調症を知る」 2月27日 仙台市

(7)認知症コールセンター事業 新規

相談件数 209件

内訳 ア 電話相談 202件
イ 面接相談 7件

5 自立に向けた援助活動

1. 生活福祉資金等貸付事業 重点

(1) 新会計基準への移行 新規

(2) 資金の貸付実施（※決定日は審査日を基準）

①総合支援資金（※金額には、増額決定分を含む）

ア 生活支援費

決定 505 件 455,832,200 円

イ 住宅入居費

決定 53 件 7,691,382 円

ウ 一時生活再建費

決定 24 件 5,363,000 円

[合計]

決定 582 件 468,886,582 円

②福祉資金

ア 福祉費

決定 54 件 33,204,000 円

イ 緊急小口資金

決定 880 件 76,242,000 円（内特例措置 98 件 14,800,000 円）

[合計]

決定 934 件 109,446,000 円

③教育支援資金

決定 129 件 99,689,000 円（内特例措置 2 件 246,000 円）

④不動産担保型生活資金

決定 0 件

⑤臨時特例つなぎ資金

決定 87 件 7,841,000 円

(3) 労働局、福祉事務所等関係機関との連携

①住宅手当緊急特別措置事業担当者会議（4月27日）

②平成22年度訓練・生活支援給付及び住居等困窮離職者に対する施策の情報交換会（4月30日）

③福島県生活福祉・就労支援事業協議会（5月28日）

④年末電話相談会（12月25日・26日）

延対応件数 10 件（内生活福祉資金貸付事業に関すること 5 件）

⑤「雇用と生活」総合相談会（12月1日、15日～17日）

⑥金融広報アドバイザー研修会（3月10日）

(4) 貸付審査等運営委員会の開催

生活福祉資金貸付審査等運営委員会

① 第1回（4月20日）

② 第2回（6月22日）

③ 第3回（7月21日）

④ 第4回（9月22日）

⑤ 第5回（1月20日）

(5) 債権管理の強化 重点

①滞納債権償還督促通知

5月20日 生活福祉資金 752 件 離職者支援資金 68 件
臨時特例つなぎ資金 3 件

11月15日 生活福祉資金 829 件 離職者支援資金 78 件
総合支援資金 2 件 臨時特例つなぎ資金 26 件

②償還指導面接会の実施

5月(4市 12件) 6月(4市村 22件) 7月(3市 15件)
9月(8市町 20件) 2月(1市 1件)

③償還猶予の実施 14件

④延滞利子免除の実施 17件

⑤償還免除の実施 47件

(6) 生活福祉資金事務取扱いマニュアル(改訂版)の作成

マニュアル作成にあたり3月11日に事務取扱説明会を開催したが、当日、東日本大震災が発生し説明事項が中途となっているため、平成23年度に作成を延期することとした。

(7) 市町村社協担当職員研修会の開催

①平成22年度生活福祉資金貸付事業担当者会議

期 日 4月23日

会 場 県総合社会福祉センター

参加者 83名

内 容 ア 生活福祉資金制度改正の概要
イ 生活福祉資金貸付事務について
ウ 緊急小口資金の取扱いについて
エ 総合支援資金、臨時特例つなぎ資金の取扱いについて
オ 福祉資金、教育支援資金の取扱いについて

②平成22年度生活福祉資金貸付事業事務取扱説明会

期 日 3月11日

会 場 県総合社会福祉センター

参加者 58名

内 容 生活福祉資金事務取扱について
ア 総合支援資金
イ 福祉資金(福祉費、緊急小口資金)
ウ 教育支援資金
エ 不動産担保型生活資金
オ 債権管理

(8) 市町村民児協で開催された研修会における制度の周知と資金の利用促進

①南相馬市鹿島地区民生児童委員協議会(4月14日)

②郡山市民生児童委員協議会連合会(7月29日)

③楡葉町民生委員協議会(9月10日)

④西郷村民生児童委員協議会(10月20日)

⑤新任民生児童委員研修会(12月21日 南会津方部)

⑥ " (12月24日 県北方部)

⑦ " (1月12日 相双方部)

⑧ " (1月14日 県南方部)

⑨ " (1月20日 会津方部)

⑩ " (1月26日 県中方部)

⑪富岡町民生児童委員協議会(2月10日)

(9) 会議・研修会等への参加

①生活福祉資金の会計に関する説明会(4月16日 東京都)

②都道府県・政令指定都市社会福祉協議会担当部会長会議

(4月26日～27日 東京都)

③北海道・東北ブロック生活福祉資金運営研究協議会

(8月30日～31日 北海道)

④平成22年度「全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会」

(10月7日～8日 東京都)

⑤生活福祉資金業務システム(第2次改修システム)操作概要・移行作業に関する

説明会

(12月 9日 仙台市)

⑥生活福祉資金業務システム（第2次改修システム）操作説明会

(2月1日～2日、9日～10日 東京都)

5 自立に向けた援助活動

2. 母子家庭等就業・自立支援センター

(1) 無料職業紹介事業の実施

①求職・求人登録及び職業相談・紹介

ア 求人件数	215 件
イ 求職相談件数（相談会を含む）	1,299 件
ウ 求職登録者数	270 名
エ 紹介人数	98 名
オ 就職人数	23 名

（就労促進事業就職人数と一部重複）

カ 他機関経由・自己就職者	29 名
---------------	------

②求人情報等の就業情報提供の実施

- ア 求人情報等提供件数 3,209 件
- イ 厚生労働省主催による緊急人材育成支援事業の各種講座の情報提供ほか

③就職相談会の開催（5 方部、年 20 回）

- ア 福島会場（福島県総合社会福祉センター） 相談件数 計 9 件
期日 4 月 21 日、6 月 25 日、8 月 23 日、10 月 20 日
- イ 須賀川会場（県中保健福祉事務所） 相談件数 計 5 件
期日 5 月 12 日、9 月 8 日、11 月 10 日
- ウ 南相馬会場（相双保健福祉事務所） 相談件数 計 4 件
期日 5 月 26 日、9 月 29 日
- エ いわき会場（いわき市総合保健福祉センター） 相談件数 計 15 件
期日 4 月 28 日、6 月 23 日、8 月 25 日、10 月 27 日、2 月 23 日
- オ 会津若松会場（会津保健福祉事務所） 相談件数 11 件
期日 4 月 14 日、6 月 9 日、8 月 11 日、10 月 13 日、12 月 8 日
- カ その他 県南保健福祉事務所 相談件数 1 件 期日 7 月 9 日

④就職支援講座の開催（福島会場）

- 第 1 回 履歴書・職務経歴書の書き方について（5 月 20 日）
参加者 4 名
- 第 2 回 職務経歴書の書き方について（7 月 12 日）
参加者なし

(2) 就労促進事業の実施

①職場開拓推進員による、キャリア・コンサルティング、企業訪問、求人開拓、就職後のフォロー

ア 企業訪問件数	395 件
イ 求人情報件数	412 件
ウ マッチング件数	12 件
エ 就職者数	43 名
（うち常用雇用就職者数 11 名）	
オ アフターフォロー実施数	33 件

②就業意識の啓発と能力開発事業の実施を目的としたパソコン講座・就職活動サポート講座等の実施

- ア パソコン入門／就職力アップ講座
・ 10 月 4 日 受講人数 4 名
- イ ワード・エクセル基本操作／就職力アップ講座
・ 11 月 8 日 受講人数 3 名
- ウ 履歴書・職務経歴書の作成／面接対策講座
・ 12 月 6 日 受講人数 2 名
- エ 事務職模擬体験／ビジネスマナー講座

- ・ 11月29日 受講人数3名
 - オ 介護職模擬体験／就職力アップ講座
 - ・ 10月20日 受講人数2名
 - ・ 11月19日 受講人数1名
- 合計受講人数15名

(3) 求人事業所への広報・啓発活動の実施

「特定求職者雇用開発助成金」に関するちらし・パンフレットの企業への情報提供等

(4) 関係機関との連携強化

母子自立支援員等業務研修会

期 日 3月10日

会 場 ふくしま中町会館

内 容 講義 「県内の雇用失業情勢及びハローワークにおける職業紹介について」

講師 厚生労働省福島労働局 職業対策課

雇用指導係長 鈴木里江子 氏

母子家庭等就業・自立支援センター事業等についての及び母子家庭就労促進事業について、母子自立支援員の業務についての説明・情報交換等

参加人数 24名

(5) 会議・研修会等への参加

①第1回福島県生活福祉・就労支援協議会 (5月28日 福島市)

②養育費専門相談員全国研修会 (7月7日 東京都)

③ひとり親支援ネットワーク連携会議 (7月22日 郡山市)

④東北・北海道ブロック母子寡婦福祉事務担当者会議及び母子自立支援員連絡会議並びに母子家庭等就業・自立支援センター職員養成セミナー
(8月27日 岩手県盛岡市)

⑤多言語行政サービスネットワーク会議 (11月16日 福島市)

(6) 業務視察受入

①三春町民生児童委員協議会児童福祉部会 (10月14日)

②東海村母子寡婦福祉会 (11月15日)

6 福祉サービスの利用者支援

1. 日常生活自立支援事業（愛称：あんしんサポート）

(1) 基幹的社協への業務委託

基幹的社協（7市町）

福島市、郡山市、会津若松市、いわき市、

白河市、南相馬市、南会津町

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施

①福祉サービス利用援助事業実施社協への助成＜共同募金配分事業＞

ア 平成21年度から継続助成（7市）

二本松市、伊達市、本宮市、須賀川市、田村市、喜多方市、相馬市

イ 平成22年度新規助成（3町村）

西郷村、棚倉町、会津坂下町

②福祉サービス利用援助事業実施社協への助成（県社協自主財源）

ア 平成22年度新規助成（18町村）

大玉村、石川町、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、西会津町、

下郷町、檜枝岐村、只見町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、

浪江町、飯館村

(3) 支援及び訪問活動の実施

①社協への巡回訪問（現地確認）

ア 会津若松市社協現地確認（4月14日）

イ 白河市社協現地確認（6月21日）

②相談対応及び契約支援等

ア 福島市社協管内の利用者支援（4月2日）

イ 浅川町社協管内の利用希望者支援（5月18日）

ウ 福島市社協管内の利用者支援（6月10日）

エ 棚倉町社協管内の契約締結支援（6月11日）

オ 福島市社協管内の同行訪問（6月15日）

カ 白河市社協管内の契約締結支援（6月21日）

キ 本宮市社協管内の利用者ケース会議（6月23・24日）

ク 浅川町社協管内の契約締結支援（7月2日）

ケ 富岡町社協管内の利用希望者支援（7月30日）

コ 須賀川市社協管内の利用者ケース会議（8月4日）

サ 南相馬市社協管内の利用者支援（9月8日）

シ 石川町社協管内の同行訪問（9月15日）

ス 石川町社協管内の契約締結支援（9月29日）

セ 飯館村社協管内の同行訪問（11月22日）

ソ 古殿町社協管内の同行訪問（12月10日）

タ 古殿町社協管内の契約締結支援（12月21日）

(4) 審査会、委員会、連絡会議の開催

①契約締結審査会

ア 第1回（4月27日）

審査・助言依頼（2件）、報告事項（15件）

イ 第2回（7月13日）

審査・助言依頼（1件）、報告事項（30件）

ウ 第3回（9月14日）

審査・助言依頼（2件）、報告事項（12件）

エ 第4回（11月9日）

審査・助言依頼（1件）、報告事項（14件）

オ 第5回（1月11日）

- ③第14回高齢者・障害者の財産と福祉を守る成年後見電話相談会
(9月12日)
- ④シルバー110番なんでも相談会(9月26日)
- ⑤市民後見人養成講座受講者学習会(1月13日)

(7) 広報・啓発活動の実施

- ①パンフレットの作成 12,000部作成
- ②総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」による広報・啓発
- ③関係機関・団体への制度周知
 - ア 双葉南地域介護支援専門員連絡協議会研修会(5月14日)
 - イ 障がい児者福祉施設協議会総会(5月19日)
 - ウ 訪問介護員初任者研修(5月26日)
 - エ 地域包括・在宅介護支援センター協議会総会(5月26日)
 - オ 三島町民生児童委員協議会定例会(9月2日)
 - カ 富岡町民生児童委員協議会定例会(9月8日)
 - キ 福島市東部地域ケア会議(9月15日)
 - ク 福島県精神保健福祉センター公開学習会(9月27日)
 - ケ 権利擁護のための支援者養成公開講座(11月6日)
 - コ 福祉関係者のための成年後見制度活用講座(11月17日)
 - サ いわき民生児童委員協議会中堅民生児童委員研修会(2月3日)

(8) 研修会等の開催

- ①生活支援員フォローアップ研修(実働者対象)
 - 期 日 平成22年10月29日
 - 会 場 郡山市総合福祉センター
 - 参加者数 53名
- ②生活支援員新規委嘱者研修(新規委嘱者対象)
 - ア 郡山市1名(4月15日)
 - イ 檜枝岐村1名(5月21日)
 - ウ 川俣町1名(6月15日)
 - エ 本宮市1名(6月18日)
 - オ 楡葉町2名(7月26日)
 - カ 富岡町1名(11月10日)
 - キ 会津若松市1名(1月24日)
- ③基幹的社協・単独実施社協職員研修
 - ア 第1回(7月13日) 参加者数 27名
 - イ 第2回(9月14日) 参加者数 22名
 - ウ 第3回(11月9日) 参加者数 22名
- ④市町村社協新規担当者説明会
 - ア あんしんサポート業務新任担当職員説明会
 - 期 日 平成22年4月23日 参加者数 36名
 - イ あんしんサポート基幹的社協・単独実施社協新任専門員等業務説明会
 - 期 日 平成22年4月27日 参加者数 12名
- ⑤生活支援員新規委嘱者研修会(平成23年4月委嘱者対象)
 - 期 日 平成23年3月9日
 - 会 場 福島県総合福祉センター
 - 参加者数 39名

(9) 会議・研修会等への参加

- ①都道府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業所長会議
(5月27日 東京都)
- ②成年後見制度説明会(10月5日)
- ③ブロック道県・指定都市社会福祉協議会地域福祉担当部課長及び日常生活自立支援事業担当者会議(12月6～7日 北海道)

【問合せ・相談件数、契約件数】（ ）内は平成 21 年度。

	計	高齢者（認知症等）	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他	その他相談
問合せ・相談件数	9,262 件 (6,860 件)	4,057 件 (3,339 件)	2,116 件 (1,308 件)	2,170 件 (1,532 件)	906 件 (681 件)	13 件 (0 件)
初回相談件数	342 件 (256 件)	203 件 (150 件)	47 件 (35 件)	40 件 (36 件)	52 件 (35 件)	
契約件数	61 件 (51 件)	39 件 (25 件)	11 件 (7 件)	7 件 (10 件)	4 件 (9 件)	

【契約件数の累計】

	計	高齢者（認知症等）	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他
契約件数(事業開始以来件数)	407 件	238 件	73 件	50 件	46 件
解約件数(事業開始以来件数)	178 件	129 件	15 件	12 件	22 件
実利用件数(3 月末)	229 件	110 件	57 件	38 件	24 件
契約準備件数(3 月末)	19 件	10 件	2 件	2 件	5 件

6 福祉サービスの利用者支援

2. 福祉サービス苦情解決事業

(1) 福島県運営適正化委員会選考委員会の開催

① 運営適正化委員選考委員候補者に関する公示

ア 公示期間 8月10日～23日

イ 公示場所及び公示 県社協・市町村社協掲示板、県社協総合社会福祉情報誌「はあとふるふくしま」

② 福島県運営適正化委員選考委員会の開催

期日 9月24日

内容 委員長・副委員長の選任、福島県運営適正化委員会委員の選任

(2) 福島県運営適正化委員会の運営

① 運営適正化委員会(本会議)の開催

ア 第1回(9月29日 福島市)

内容 ・委員長、副委員長の互選
・運営監視部会委員及び苦情解決部会委員の指名
・部会長の互選
・平成21年度事業報告、平成22年度事業計画及び中間報告

② 苦情解決部会の開催

ア 第1回(4月16日 福島市)

内容 (ア) 苦情申し立てに対する対応について
継続4件 新規5件 一般相談2件
(イ) 県関係各課との懇談会について

イ 第2回(6月11日 福島市)

内容 (ア) 苦情申し立てに対する対応について
継続5件 新規8件 一般相談5件
(イ) 県関係各課との懇談会について

ウ 第3回(8月10日 郡山市)

内容 (ア) 苦情申し立てに対する対応について
継続8件 新規3件 一般相談3件

エ 第4回(12月17日 郡山市)

内容 (ア) 苦情申し立てに対する対応について
継続1件 新規16件 一般相談0件

オ 第5回(1月21日 郡山市)

内容 (ア) 苦情申し立てに対する対応について
継続6件 新規2件 一般相談0件

③ 運営監視部会の開催

ア 第1回(11月17日 福島市)

内容 (ア) 福祉サービス利用援助事業平成21年度下半期実施状況報告
(イ) 平成22年度現地調査について

イ 第2回(3月7日 福島市)

内容 (ア) 日常生活自立支援事業の実施状況について(県社協からの報告)
(イ) 現地調査の結果について
(ウ) 助言、勧告の有無について

ウ 福祉サービス利用援助事業実施主体等からの定期報告受理(年2回)

エ 現地調査(3か所)

(ア) 実施内容(契約ケースの援助状況確認、書類等預かりサービスの管理状況確認、日常的金銭管理サービスの管理状況確認、要望内容聴取等)

(イ) 実施対象: 会津若松市社会福祉協議会(2月2日)

そよ風ネットいわき(2月15日)

二本松市社会福祉協議会（2月24日）

④県関係各課との懇談会の開催（6月11日 福島市）

内容（ア）運営適正化委員会の事業概要について

（イ）平成21年度事業報告並びに平成22年度事業計画

（ウ）運営適正化委員会に寄せられた苦情に関する課題について

(3) 苦情受理、調査及び斡旋

①平成22年度苦情受付状況

平成23年3月31日現在

	合計	苦 情 趣 旨						
		職員の 接遇	サービス の質・量	利用料	説明・ 情報提供	被害 損害	権利 侵害	その他
合 計	38	8	6	1	4	9	5	5
高齢者	17	1	4	1	2	6	1	2
障がい	14	4	2		1	3	3	1
児 童	2	1					1	
その他	5	2			1			2

②平成22年度苦情解決状況

平成23年8月31日現在

苦情解決結果 苦情趣旨	合計	相談 助言	紹介 伝達	あっせん 話し合い 申し入れ 事情調査	通知	継続 中	意見 要望	その他
合 計	38	15	5	15		2		1
職員の接遇	8	2	1	3		2		
サービスの質・量	6	1	1	4				
利用料	1	1						
説明・情報提供	4	2		2				
被害・損害	9	6	1	2				
権利侵害	5	2		3				
その他	5	1	2	1				1

③苦情案件に関する事業所訪問（事情調査）の実施

- ・訪問対象：平成22年度に苦情の申し出があり、斡旋等を行った事業所及び昨年度苦情申し出があり、その後の確認が必要と思われる事業所を訪問
- ・内容：苦情申し出内容に対する改善策の助言、適切な苦情解決に向けた取り組みの助言
- ・訪問日及び訪問先事業種別
 - ア 5月13日（関係機関）
 - イ 5月13日（行政）
 - ウ 6月2日（特別養護老人ホーム）
 - エ 7月30日（母子生活支援施設）
 - オ 9月22日（障害者支援施設）
 - カ 11月5日（知的障害者通所授産施設）
 - キ 11月5日（認知症高齢者グループホーム）
 - ク 12月22日（行政）
 - ケ 2月10日（身体障害者授産施設）

(4) 広報・啓発活動の実施

- ①県社協月刊広報誌「はあとふる・ふくしま」へ広告を掲載
- ②県社協月刊広報誌「はあとふる・ふくしま」(2月号)へ特集を掲載
“苦情をよりよい福祉サービスの糧に”～運営適正化委員会の10年～

(5) 研修の実施

- ①苦情受付担当者研修(2月7日 参加者 149名)
- ②苦情解決責任者研修(2月22日 参加者 136名)
- ③第三者委員情報交換会(方部別)
 - ア 会津方部 11月12日(会津若松市 参加者27名)
 - イ 浜通り方部 11月19日(いわき市 参加者47名)
 - ウ 中通り方部 11月26日(郡山市 参加者68名)

(6) 苦情解決実施状況調査の実施

- ①調査期間 平成23年1月7日～2月1日
- ②対象事業所数:2,111事業所(回答率70.0%)
- ③報告書の作成

(7) 北海道・東北ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議の開催(福島市)

期間 平成22年10月28日・29日
会場 福島市「福島ビューホテル」

6 福祉サービスの利用者支援

3. 福祉サービス第三者評価事業

(1) 広報の実施

- ①県社協ホームページへの掲載
- ②県社協部会・協議会等を通じた周知
- ③総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」への掲載

(2) 評価申込書の受付

- ①申込数 5施設
 - ア すくすく園（保育所）
 - イ あすなろ保育園（保育所）
 - ウ スギナ保育園（保育所）
 - エ 緑光園（養護盲老人ホーム）
 - オ 福島県やまぶき荘（特別養護老人ホーム）

(3) 申込施設に対する事前説明（評価基準・自己評価方法等）

- ア すくすく園（7月8日）
- イ あすなろ保育園（5月14日）
- ウ スギナ保育園（5月20日）
- エ 緑光園（5月13日）
- オ 福島県やまぶき荘（11月22日）

(4) 評価調査（書面調査・利用者調査・訪問調査）の実施

- ア すくすく園（第1回訪問 10月7日、第2回訪問 9月9日）
- イ あすなろ保育園（第1回訪問 10月13日、第2回訪問 11月17日）
- ウ スギナ保育園（第1回訪問 10月18日、第2回訪問 11月19日）
- エ 緑光園（第1回訪問 11月5日、第2回訪問 12月1日予定）
- オ 福島県やまぶき荘（第1回訪問 2月10日、第2回訪問 3月3日）

(5) 評価審査委員会の開催

- ア 11月18日（1件）
- イ 1月20日（3件）

(6) 評価結果の報告（4事業者及び県へ）

(7) 評価調査者養成・継続研修会（県主催）への派遣

- 期 日 7月27日～30日、8月23日
- 会 場 自治会館及び実習施設
- 受講者 10名（継続7名、養成3名）

(8) 評価調査者学習会

- 期 日 8月25日
- 会 場 福島県総合社会福祉センター
- 内 容 講義「第三者評価基準の理解とその視点について」
演習「効果的なヒアリングの方法と評価結果の作成」
説明「第三者評価の実施状況と進め方について」
- 参加者 19名（県社協登録評価調査者）

(9) 福祉サービス第三者評価基礎研修の開催

- 期 日 6月30日
- 会 場 福島県青少年会館
- 内 容 講義①「第三者評価事業を積極的に活用するために」
事例発表「第三者評価の取り組みについて」
講義②「第三者評価基準の理解とポイント」
演習「第三者評価 自己評価の作成」
説明「第三者評価の進め方」
- 参加者 78名

4. 介護サービス情報の公表事業

(1) 指定公表センター事業の実施

- ①介護サービス情報の報告（基本情報・調査情報）、調査、公表計画の策定
（約 2,246 事業所）
- ②調査対象事業所と指定調査機関へ調査計画の通知（月単位）
- ③調査対象事業所からの介護サービス情報の報告受理（2,141 事業所）
（5 月分）5 事業所、（6 月分）202 事業所、（7 月分）323 事業所
（8 月分）265 事業所、（9 月分）367 事業所、（10 月分）315 事業所
（11 月分）286 事業所、（12 月分）182 事業所、（1 月分）189 事業所
（2 月分）7 事業所
（対象施設）
介護保険法施行規則に定められているサービスを提供している施設・事業所
- ④新規指定事業所からの介護サービス情報の報告受理（基本情報 154 事業所）
- ⑤調査機関からの調査結果報告受理（2,046 事業所）
（6 月分）6 事業所、（7 月分）15 事業所、（8 月分）244 事業所
（9 月分）272 事業所、（10 月分）279 事業所、（11 月分）382 事業所
（12 月分）305 事業所、（1 月分）290 事業所、（2 月分）178 事業所
（3 月分）75 事業所
- ⑥調査結果のデータ入力
- ⑦介護サービス情報（基本情報・調査情報）の公表（インターネット等）

(2) 調査機関事業の実施

- ①調査対象事業所への訪問調査の実施（830 事業所）
（8 月分）87 事業所、（9 月分）125 事業所、（10 月分）114 事業所
（11 月分）161 事業所、（12 月分）131 事業所、（1 月分）116 事業所
（2 月分）77 事業所、（3 月分）19 事業所
- ②指定情報公表センターへの調査結果報告（830 事業所）

(3) 広報の実施

- ①県社協ホームページへの掲載
- ②総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」への掲載
- ③一般県民向け公表システムのPR活動
パンフレットの作成 30,000 部
配布先 市町村、市町村社協、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等

7 市町村社協との連携と協働・支援

(1) 市町村社会福祉協議会の実態把握と現状分析

- ①市町村社協活動状況調査の実施
- ②市町村社協職員便覧の作成（6月）
 - ア 作成数 500部
 - イ 配布先 市町村社協、県関係機関
- ③市町村社協各種資料の収集
 - ア 平成22年事業計画・予算の提出
 - イ 平成21年度事業報告・決算書の提出

(2) 市町村社会福祉協議会地域福祉活動計画策定への支援（重点）

- ①計画策定に繋がる事業メニューの提示及び個別支援
（市町村社協が選択し実施）
メニュー：市町村社協自己診断、住民座談会、支え合いマップづくり、住民福祉ニーズ調査等
- ②地域福祉活動計画策定社協への個別支援
 - ア 南相馬市社会福祉協議会「策定方法等についての打合せ」（7月1日）
 - イ 本宮市地域福祉研修会（2月19日）

(3) 災害時に備えた市町村社協の取り組み支援

- ①災害時における県内市町村社協相互の応援協定締結（重点・新規）
「福島県・市町村社会福祉協議会における災害時相互支援に関する協定書」を平成22年4月1日付けで締結した。
なお、この協定書の締結式を下記のとおり行なった。
 - ア 日時 5月13日
 - イ 場所 福島県総合社会福祉センター
- ②個別支援

(4) 市町村社会福祉協議会職員研修会の実施

- ①新任職員研修会（受講者数27名）
- ②中堅職員研修会 新規（受講者数30名）
- ③管理職員（事務局長等）研修会（受講者数23名）
- ④経営・財務研修会（受講者数43名）
- ⑤社会福祉法人役員（社協・監事）研修会（受講者数70名）
- ⑥コミュニティワーク研修会（受講者数11名）

(5) 各種会議の開催

- ①市町村社協会長、事務局長会議の開催
 - 期 日 5月13日
 - 会 場 県総合社会福祉センター
 - 出席者 78名
 - 内 容 ア 基調説明
「社協を取り巻く状況と平成22年度県社協の重点事業」
県社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉課長 佐藤一也
イ 平成22年度県社協事業説明

（市町村社協に関係する事業を各課より説明。）

②市町村社協地域福祉活動研究会の開催（年4回）（重点）

市町村社協から応募のあった地域福祉活動担当職員6名により構成。

ア 第1回

- 期 日 8月5日
- 会 場 県総合社会福祉センター
- 内 容 <説 明>

（ア）地域福祉活動研究会の目的等について（県社協）

(イ) 委員所属各社協における地域福祉に関する事業の実施状況と課題 (各委員)

<意見交換>

(ア) 委員所属各社協における地域福祉に関する事業の実施状況と課題

(イ) 22 年度の研究内容について<今後のスケジュールについて>

イ 第2回

期 日 10 月 13 日

会 場 県総合社会福祉センター

内 容 (ア) 22 年度の研究内容の決定及び研究方法について

(イ) 今後のスケジュールについて

ウ 第3回

期 日 12 月 9 日

会 場 県総合社会福祉センター

内 容 (ア) 今後のスケジュールについて

(イ) 22 年度テーマに基づく協議

Q & A を基に研究会としての意見のまとめ方について

(ウ) まとめ作業

(エ) 活動紹介・事例等についての検討

エ 第4回

期 日 平成 23 年 2 月 25 日

会 場 県総合社会福祉センター

内 容 (ア) 22 年度テーマに基づく協議・まとめ

第 3 回における Q & A のまとめ

各社協の事例検討及び報告書作成について

(6) 地域福祉活動推進手法の提案

(市町村社協地域福祉活動研究会で企画)

(7) 市町村社会福祉協議会連絡協議会の運営

① 会長会 (全体会) の開催

ア 第1回

期 日 5 月 13 日

会 場 県総合社会福祉センター

出席者 79 名

内 容 <協議事項>

(ア) 平成 22 年度市町村社協連絡協議会事業実施計画について

<情報交換>

(ア) 「市町村社協の課題に関する取り組み計画 (予定)」に関する報告から

・市町村社協地域福祉活動計画策定に向けて市町村が取り組むべき事業項目・内容

・災害時に備えて県内の市町村社協が共通して取り組むべき項目・内容

・平成 23 年度あんしんポイント全市町村社協実施に向けた取り組み状況について

(イ) 「介護職員処遇改善交付金」の交付申請状況等調査から

イ 第2回

期 日 1月28日

会 場 コラッセふくしま

出席者 91名

内 容 <協議事項>

(ア)市町村社協の課題に関する今後の方向性～平成23年度へ向けて～

- ・日常生活自立支援事業の実施体制について
- ・市町村社協地域福祉活動計画策定の策定について
- ・災害時に備えた市町村社協の取り組みについて

(イ)市町村社協連絡協議会の役員改選について

②事務局長会役員会の開催

ア 第1回

期 日 8月11日

会 場 県総合社会福祉センター

出席者 6名

内 容 <協議・意見交換内容>

(ア)市町村社協の課題に関する取り組み計画の取り組み状況について

- ・市町村社協地域福祉活動計画策定に向けて市町村が取り組むべき事業項目・内容
- ・災害時に備えて県内の市町村社協が共通して取り組むべき項目・内容
- ・平成23年度「あんしんサポート」全市町村社協実施に向けた取り組み状況について

(イ)地区連絡会の開催について

(ウ)今後のスケジュールについて

(エ)その他

- ・生活福祉資金貸付事業に関する緊急要望について

イ 第2回

期 日 11月24日

会 場 県総合社会福祉センター

出席者 6名

内 容 (ア)事務局長会地区連絡会で意見交換した結果を各地区連絡会長から報告

(イ)協議、当面の課題に関する23年度以降の方向性について

- ・日常生活自立支援事業の実施体制について
- ・市町村社協地域福祉活動計画策定について
- ・災害時に備えた市町村社協の取り組みについて

(ウ)平成22年度市町村社会福祉協議会トップセミナー及び全体会の内容について

③事務局長会地区連絡会の開催（6地区）

期日、会場：10月4日（県南地区、矢吹町保健福祉センター）

10月7日（相双地区、相馬市総合福祉センター）

10月15日（南会津地区、南会津町福祉ホール）

10月20日（会津地区、喜多方総合福祉センター）

10月21日（県北地区、二本松市安達公民館）

10月25日（県中地区、郡山市総合福祉センター）

出席者 58名

内 容 （各会場共通）

協議・意見交換

（ア）市町村社協の課題に関する取り組み計画の取り組み状況について

・市町村社協地域福祉活動計画策定に向けて市町村が取り組むべき事業項目・内容

・災害時に備えて県内の市町村社協が共通して取り組むべき項目・内容

・平成23年度「あんしんサポート」全市町村社協実施に向けた取り組み状況について

（イ）市町村社会福祉協議会トップセミナーの内容について

（ウ）今後のスケジュールについて

④社会福祉トップセミナーの開催

期 日 1月28日

会 場 福島市「コラッセふくしま」

参加者 98名

内 容 講演 「地域福祉の潮流と社会福祉協議会の基本的理解」

講師 ルーテル学院大学 教授 和田 敏明 氏

（8）地域の福祉力セミナーの開催（再掲）（年2回）

ア 第1回 期 日 7月8日

会 場 三春交流館まほら

参加者数 196名

イ 第2回 期 日 12月17日

会 場 棚倉町文化センター倉美館

参加者数 128名

（9）事務局内における支援体制の強化

（10）関係機関・団体等との連携・情報交換

（11）会議・研修会等への参加

①都道府県・指定都市地域福祉関係担当部課所長会議

（4月26～27日、東京都）

②ブロック道県・指定都市社会福祉協議会地域福祉担当部課長及び日常生活自立支援事業担当者会議

（12月6～7日 北海道）

8 福祉人材の養成・確保

(1) 福祉人材センター運営委員会等の開催

①福祉人材センター運営委員会

ア 第1回 (10月8日)

場 所 福島県総合社会福祉センター (福島市)

内 容 平成22年度福祉人材センター事業経過報告について (中間報告)、
平成22年度福祉人材センターにおける今後の事業展開について

イ 第2回 (3月4日)

場 所 福島県総合社会福祉センター (福島市)

内 容 平成22年度福祉人材センター事業報告について (中間報告)、
平成23年度福祉人材センター事業計画について

②ネットワーク構築情報会議

ア 期日 6月25日

イ 場所 福島県男女共生センター

ウ 内容 平成21年度事業報告、平成22年度事業計画、福祉・介護人材マッチン
グ支援事業、福祉人材センター協力指定事業の進め方、情報交換

(2) 広報・啓発活動の実施

①福祉の仕事ガイドブックの作成

ア 作成部数 1,500部

イ 配布先 求職者等

②リーフレットの作成

ア 作成部数 10,000枚

イ 配布先 求職者等

③総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」による広報

ア 9月号特集「職場研修推進事業」

イ 3月号特集「人事労務セミナー」

④県社協ホームページによる広報・啓発

ア 内容: 福祉人材センターイベント情報、求職者情報、県内社会福祉施設ガイド、
福祉のビデオライブラリー等

イ アクセス件数: 20,739件

⑤福祉啓発ビデオの貸出

ア 貸出本数: 271本

(3) 無料職業紹介事業の実施

①求職・求人登録及び職業相談・紹介 ※ () 内は平成22年3月末日現在

ア 新規求人件数 639件 (596件)

イ 新規求人数 1,451人 (1,220人)

ウ 有効求人数 3,848人 (3,444人)

エ 新規求職者数 1,111人 (1,056人)

オ 有効求職者数 7,288人 (6,366人)

カ 就職人数 40人 (40人)

キ 有効求人倍率 0.53倍 (0.54倍)

ク 新規求人倍率 1.31 倍 (1.16 倍)

②福祉の仕事相談会の開催 (5 方部) 相談件数合計 237 件 (263 件)

ア 郡山市 (第 4 月曜日) 相談件数: 97 件 (97 件)

イ 会津若松市 (第 1 水曜日) 相談件数: 54 件 (90 件)

ウ いわき市 (第 2 水曜日) 相談件数: 55 件 (54 件)

エ 白河市 (第 2 金曜日) 相談件数: 22 件 (11 件)

オ 南相馬市 (第 3 木曜日) 相談件数: 9 件 (10 件)

※白河市、南相馬市は隔月開催

③福祉人材センター協力指定事業の実施 (6 社協)

ア 指定社協 福島市、郡山市、白河市、会津若松市、南相馬市、いわき市

イ 指定内容 福祉人材センター事業の広報啓発、求職登録受付など

④インターネットによる職業紹介の実施 (随時)

(4) 福祉人材養成に関する事業

①福祉の職場説明会の開催

ア 第 1 回

期 日 8 月 16 日

共 催 福島労働局、福島公共職業安定所 (福祉人材コーナー設置所)

場 所 ビッグパレットふくしま (郡山市)

内 容 求人面談コーナー、施設・社協相談コーナー、ハローワークコーナー、
ナースバンクコーナー、進路相談コーナー、資格取得相談コーナー、
ボランティア相談コーナー、福祉人材センター登録・相談コーナー

結 果 来場者 450 名、求人ブース 51 ブース

イ 第 2 回

期 日 2 月 26 日

共 催 福島労働局、福島公共職業安定所 (福祉人材コーナー設置所)
介護労働安定センター福島支所

場 所 ビッグパレットふくしま (郡山市)

内 容 求人面談コーナー、ハローワークコーナー、介護職就労等相談
コーナー、福祉人材センター登録・相談コーナー

結 果 来場者 274 名、求人ブース 56 ブース

②学生に対する就職動向説明会の開催

期 間 5 月～7 月

学校数 11 校 (高校、専門学校、短期大学、大学)

聴講者 845 名

③福祉・介護人材緊急支援 (職場体験) 事業の実施

ア 説明会

各部会・協議会の総会 (計 4 回) 及び県主催の社会福祉施設長会議 (1 回)
並びに介護保険事業者集団指導 (5 回)、指定障害福祉サービス事業者等集団
指導 (3 回) にて事業概要の説明を実施。

イ 実施期間 4 月～2 月 (2 月末日現在)

協力施設数 73 ヶ所 (59 ヶ所)

体験者数 82 名・延べ 262 日 (60 名・延べ 179 日)

体験施設数 32 ヶ所 (24 ヶ所)

ウ 事後報告会

期 日 2月26日

場 所 ビッグパレットふくしま

内 容 「事業所アンケート結果」及び「次年度受入のお願い」

④福祉人材就職支援セミナーの開催

ア 第1回

期 日 8月16日

場 所 ビッグパレットふくしま (郡山市)

参加者 57名

内 容 「福祉職場に求められる人材とは」「自己分析からつなげる就職活動」

イ 第2回

期 日 2月26日

場 所 ビッグパレットふくしま (郡山市)

参加者 40名

内 容 「最近の福祉業界の動向」「書類に活かせる自己表現方法とは」

⑤再就職支援講習会

期 日 第1回 2月18日 第2回 2月26日

場 所 第1回 福島県総合社会福祉センター (福島市)

第2回 ビッグパレットふくしま (郡山市)

講 師 ㈱トーネット 國分理里子 氏

福島県介護福祉士会

受講者 第1回 8名 第2回 12名

内 容 「最近の福祉業界の動向」「応募書類作成に活かせる自己表現方法とは」
「介護実技の再確認」

⑥介護福祉士受験準備講習会の開催

期 日 7月24日からの全9日間

場 所 郡山ユラックス熱海 (郡山市)

受講者 199名

内 容 「障害者福祉論、レクリエーション活動援助法」(7月24日)、
「社会福祉概論」(8月13日)、「介護概論、老人福祉論」(9月14日)、
「老人・障害者の心理、社会福祉援助技術論」(9月24日)、「家政学
概論、精神保健」(10月1日)、「医学一般」(10月19日)、「リハビリ
テーション論」(11月6日)、「介護技術、形態別介護技術」(11月13
日)「模擬試験」(12月13日)

⑦介護福祉士受験準備講習会(実技)の開催

期 日 第1回 2月28日 第2回 3月1日

場 所 郡山健康科学専門学校 (郡山市)

受講者 第1回 24名 第2回 23名

内 容 介護福祉士国家試験に向けた介護技術(実技)の準備講習

⑧介護支援専門員実務研修受講試験の実施

期 日 10月24日

会 場 福島大学、福島学院大学、福島県総合社会福祉センター
申込者数 2,672 名
受験者数 2,454 名
合格者数 427 名
合 格 率 17.4%

⑨介護支援専門員実務研修・再研修・更新研修の開催

期 日 前期Ⅰ（1月15日～18日）、前期Ⅱ（1月26日～29日）
後期Ⅰ（2月22日～24日）、後期Ⅱ（3月8日～10日）

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

受講者数 572 名

内 容 介護保険法令及び関係通知における介護支援専門員の職務、資格等
に関する規定に測り、利用者の自立支援を図るための内容。

⑩介護支援専門員実務研修講師打合せ会の開催

ア 第1回【中心講師】

期 日 11月22日

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

内 容 実務研修21年度の振り返りと22年度の実施について

イ 第2回【中心講師】

期 日 12月14日

会 場 郡山市総合福祉センター（郡山市）

内 容 試験結果、講師調整、資料等について

ウ 第3回【全講師】

期 日 1月7日

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

内 容 前期日程の運営方法について

エ 第4回【全講師】

期 日 2月15日

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

内 容 後期日程の運営方法と役割について

（5）福祉人材確保に関する事業

①社会福祉施設訪問事業の実施

期 間 6月～7月

訪問数 11 福祉施設・法人

内 容 Cool システムの登録及び操作方法の説明等

②就職指導教諭のための福祉就職セミナー【新規】

期 日 2月16日

会 場 福島県農業総合センター（郡山市）

協 力 福島労働局、特別養護老人ホーム聖・輝きの郷、社会福祉法人福島
県社会福祉事業団

参加者数 29 名

内 容 「新卒者の雇用情勢」「福祉人材センター実績に基づく福祉施設・事
業所の就職動向」「社会福祉施設・事業所の採用活動と人材育成」

③福祉人材確保推進セミナーの開催

(「介護の日記念フォーラム 2010」内で実施)

期 日 11月11日

会 場 ビッグパレットふくしま(郡山市)

内 容 「介護の一步は思いやり 老いをイキイキ！」

参加者数 170名

講 師 フリーアナウンサー 小谷あゆみ 氏

④雇用関係給付金の取扱事業の実施(随時)

(6) 調査研究事業

①「福祉施設・事業所職員就労意識調査」の実施【新規】

調査対象 県内 202 社会福祉法人(調査票配付数 16,536)

内 容 県内の社会福祉施設等で働く職員の考え方や意見・意向、満足度、就業継続の要件等を把握し、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策の資料とする。

調査期間 12月1日～20日

回 収 率 77.2%(配付 16,536 通、回収 12,774 通)

<回収法人数 202 法人中 185 法人(91.6%)>

調査結果報告書の印刷: 1,000 部

配付先: 施設経営社会福祉法人、経営施設、県等関係機関、全国都道府県社協等

②福祉人材情報システムによる分析(随時)

(7) 福祉・介護人材マッチング支援事業【重点】

①求人・求職者支援

ア ハローワークにおける相談等活動 相談者計 717 名

・福祉の仕事相談会

期 日 4月1日～3月31日

結 果 182 回開催 相談者 741 名

内 訳 ハローワーク平 47 回 145 名

ハローワーク二本松 47 回 125 名

ハローワーク相馬 23 回 26 名

ハローワーク白河 11 回 94 名

ハローワーク喜多方 18 回 52 名

ハローワーク須賀川 1 回 11 名

ハローワーク富岡 19 回 55 名

ハローワーク郡山 6 回 144 名

ハローワーク福島 10 回 89 名

・福祉の仕事就職支援セミナー

期 日 4月1日～3月31日

結 果 44 回開催 参加者 634 名

内 訳 ハローワーク福島 21 回 213 名

ハローワーク白河 7 回 101 名

ハローワーク二本松 5 回 72 名

ハローワーク平 4 回 70 名

ハローワーク郡山 7回 178名

・介護就職デイ

期 日 11月5日～12日

結 果 3回参加 相談者 35名

内 訳 ハローワーク福島 11月5日 19名（ウディング・エルティ）

ハローワーク相馬 11月10日 5名（道の駅南相馬）

ハローワーク白河 11月12日 11名（ホテルリゾート白河）

イ 福祉・介護就職フェア（介護就職デイ）の開催

共 催 福島労働局、各公共職業安定所

内 容 求人面談コーナー、ハローワークコーナー、福祉人材センター
登録・相談コーナー

・いわき会場

期 日 11月9日

場 所 いわきワシントンホテル椿山荘（いわき市）

結 果 来場者 41名、求人ブース 13ブース

・郡山会場

期 日 11月11日

場 所 ビッグパレットふくしま（郡山市）

結 果 来場者 94名、求人ブース 32ブース

・会津会場

期 日 11月16日

場 所 会津若松ワシントンホテル（会津若松市）

結 果 来場者 54名、求人ブース 18ブース

ウ 民間企業・行政等主催就職フェア・セミナー等への出展参加

※福祉の仕事相談コーナーを設置し、求職登録及び相談に対応

・ふくしま就職ガイダンス

期 日 5月27日

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

主催者 ふくしま地域共同就職支援センター

相談者 9名

・福島市合同企業説明会

期 日 7月2日

会 場 コラッセふくしま（福島市）

主催者 福島市

相談者 16名

・求職者のための合同企業面接会

期 日 7月26日

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

主催者 福島労働局、ふくしま地域共同就職支援センター

相談者 2名

・5県合同企業ガイダンス

期 日 12月18日

会 場 東京ドームシティ（東京都）

主催者 福島民報社のほか、茨城、栃木、山梨、長野の各新聞社

相談者 16 名

・福島市合同企業説明会

期 日 1 月 17 日

会 場 コラッセふくしま（福島市）

主催者 福島市

相談者 6 名

・福島市合同企業説明会

期 日 2 月 2 日

会 場 コラッセふくしま（福島市）

主催者 福島市

相談者 4 名

・福島民報企業ガイダンス in 郡山

期 日 2 月 24 日

会 場 郡山市民文化センター（郡山市）

主 催 福島民報社

相談者 7 名

エ 啓発資料の作成

・ポスター

作成部数 3,000 枚

配 布 先 社会福祉施設等

・リーフレット

作成部数 8,000 枚

配 布 先 社会福祉施設等

・福祉の仕事ガイドブック（高校生向け）

作成部数 30,000 部

配布先 県内の高校 2 年生等

・福祉の仕事ガイドブック（一般求職者向け）

作成部数 7,000 部

配布先 ハローワークの相談者・セミナー参加者等

②福祉の職場に対する支援

ア 人材採用支援セミナーの開催

講 師 NPO法人キャリア・デザイナーズ 代表理事 深谷昇 氏

内 容 「人材について」「人材確保について」「定着のための良い職場環境とは」

・中通り方部

期 日 9 月 28 日

会 場 ビッグパレットふくしま（郡山市）

参加者数 12 名

・浜通り方部

期 日 10 月 1 日

会 場 いわき市総合保健福祉センター（いわき市）

参加者数 9名

・会津方部

期 日 10月5日

会 場 会津アピオスペース（会津若松市）

参加者数 9名

イ 人材育成支援事業（職場研修推進事業）の実施（随時）

- ・7月22日 ハートフルなこそ、東田デイサービス（いわき市）
- ・7月23日 介護サービスゆかり（いわき市）
- ・8月31日 陽だまりの家（会津若松市）
- ・9月14日 くわの福祉会（郡山市）
- ・11月4日 くわの福祉会（郡山市）

ウ 人事労務セミナーの開催

講 師 株式会社日本経営 課長 松浦総太郎 氏

会 場 ビッグパレットふくしま

・第1回

期 日 12月14日

内 容 「キャリアパスの考え方と人事管理」「キャリアパス構築の実際」

参加者数 36名

・第2回

期 日 12月15日

内 容 「社会福祉法人における人事考課」「人事考課におけるルール」
「実際の評価手法」

参加者数 39名

・第3回

期 日 1月14日

内 容 「労務管理のポイント」「就業規則と労務管理」

参加者数 43名

・第4回

期 日 1月25日

内 容 「管理職員に求められる指導方法」「問題解決アプローチの種類」

参加者数 37名

・第5回

期 日 2月4日

内 容 「管理職員の6責任」「職員指導・育成のポイント」「経営資源の活用方法」「PDCAの実践」

参加者数 37名

エ 施設・事業所等訪問事業の実施

・指定訪問

実施期間 10月7日～10月13日

訪問施設数 8ヶ所（会津地区4ヶ所、いわき地区4ヶ所）

- ・通常訪問
実施期間 随時
訪問施設数 90ヶ所
- オ 社会福祉事業等経営相談支援事業の実施（随時）
 - ・会計・経営相談 54件
 - ・法律相談 8件
 - ・労務相談 2件
- カ 経営コンサルティング事業の実施（今年度3法人）
※公認会計士、中小企業診断士によるアドバイザー派遣・分析
・相双記念会、多宝会、とやの福祉会

③その他

- ア 他県・他機関視察
 - ・埼玉県社会福祉協議会(12月17日 埼玉県)
 - ・東京都社会福祉協議会 東京しごとセンター(12月18日 東京都)
- イ 事業PR
 - ・社会福祉施設長会議(5月31日)
 - ・介護保険事業所集団指導(6月9日～6月17日 計5回)
 - ・障害福祉サービス事業所集団指導(6月28日～7月2日 計3回)

(8) 介護福祉士等修学資金貸付事業

①資金の貸付実施 () 内は21年度実績

- ア 貸付申込者数 39名(20名)
- イ 貸付決定者数 36名(20名)
 - (ア) 介護福祉士 35名(18名)
 - ・県内養成校在籍 29名(16名)
 - ・県外養成校在籍 6名(2名)
 - (イ) 社会福祉士 1名(2名)
- ウ 貸付決定金額 57,330,000円(26,550,000円)
 - (ア) 介護福祉士 56,180,000円(25,200,000円)
 - (イ) 社会福祉士 1,150,000円(1,350,000円)

②貸付選考会の開催

期 日 4月21日

③債権の管理

平成21年度貸付件数 20件(介護福祉士18件、社会福祉士2件)
(貸付金額 26,550,000円)

平成22年度貸付件数 36件(介護福祉士35件、社会福祉士1件)
(貸付金額 57,330,000円)

④広報の実施

介護福祉士等修学資金貸付の手引きの作成、配付(2月)

(9) 関係会議・研修会等への参加

- ①福祉人材情報システム研修会(4月21日～22日 東京都)
- ②福祉人材センター全国連絡会議(5月24日～25日 東京都)
- ③福祉人材センター職員研修会[業務・法令理解編](6月22日～23日 東京都)

- ④福島労働局福祉人材確保推進協議会（6月25日 福島市）
- ⑤福祉人材確保重点対策事業担当国会議（9月14日 福島市）
- ⑥北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議
（12月1日～2日 青森市）
- ⑦福島労働局・介護労働安定センター福島支所との三者打合会
（毎月1回 福島市）

9 社会福祉事業従事者の資質向上

(1) 社会福祉従事者研修事業

①福祉研修事業運営委員会の開催

期日 3月7日

場所 福島県総合社会福祉センター

内容 (ア) 平成22年度社会福祉研修事業実施状況について
(イ) 平成23年度社会福祉研修事業実施計画(案)について

②福祉職員生涯研修講師打合せ会

期日 3月7日

場所 福島県総合社会福祉センター

内容 (ア) 平成22年度事業実施状況報告等について
(イ) 平成23年度福祉職員生涯研修の役割分担等について

③研修の実施

ア 「福祉職員生涯研修課程・標準研修プログラム」(全社協開発)を取り入れた研修の実施

イ 施設種別や職種に応じた専門課題別による研修の実施

<研修コース>

ア) 社会福祉施設職員研修 (5コース)

- ・社会福祉施設新任職員研修 (5班) (受講者数 343名)
- ・社会福祉施設長等運営管理職員研修 (受講者数 64名)
- ・社会福祉施設中堅職員研修 (3班) (受講者数 211名)
- ・社会福祉施設中堅職員フォローアップ研修

(受講者数 68名)

- ・社会福祉施設指導的職員研修 (2班) (受講者数 124名)

現任研修 (13コース)

- ・老人福祉施設職員研修Ⅰ (受講者数 178名)
- ・老人福祉施設職員研修Ⅱ (受講者数 234名)
- ・認知症高齢者対応研修 (新規) (受講者数 191名)
- ・保育所新任保育士研修 (受講者数 116名)
- ・児童厚生員・放課後児童指導員研修 (受講者数 114名)
- ・保育所保育士専門研修Ⅰ (受講者数 173名)
- ・保育所保育士専門研修Ⅱ (受講者数 156名)
- ・障害者福祉施設職員研修 (受講者数 49名)
- ・児童福祉施設職員研修 (受講者数 13名)
- ・社会福祉施設看護等職員研修 (受講者数 159名)
- ・社会福祉施設栄養士研修 (受講者数 153名)
- ・保育所給食関連研修 (受講者数 138名)
- ・保育所指導管理者研修 (受講者数 118名)

イ) 訪問介護員現任研修 (3コース)

- ・訪問介護員初任者研修 (受講者数 140名)
- ・訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ (受講者数 148名)
- ・訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ (受講者数 144名)
- ・訪問介護適正実施研修Ⅰ (受講者数 128名)
- ・訪問介護適正実施研修Ⅱ (受講者数 112名)

ウ) 地域介護専門職員研修 (7コース)

別掲載

エ) 社会福祉協議会職員研修 (9コース)

別掲載

オ) 法人・施設等役職員研修 (4コース)

- ・社会福祉法人役員・施設長研修Ⅰ (受講者数 154名)

- ・社会福祉法人役員・施設長研修Ⅱ (受講者数 152名)
- ・社会福祉トップセミナー(社協役員) 別掲載
- ・市町村社会福祉協議会役員研修 別掲載
- ・人事労務セミナー 別掲載

カ) 課題別専門分野研修(9コース)

- ・職場研修担当職員研修 (受講者数 69名)
- ・職場研修担当職員フォローアップ研修 (受講者数 50名)
- ・リスクマネジメント研修Ⅰ (受講者数 186名)
- ・リスクマネジメント研修Ⅱ (受講者数 71名)
- ・接遇マナー研修Ⅰ (受講者数 115名)
- ・接遇マナー研修Ⅱ (受講者数 96名)
- ・ボランティア受入福祉施設等担当者研修 別掲載
- ・職場におけるストレスマネジメント研修 別掲載
- ・福祉サービスに関する苦情解決研修会(苦情受付担当者) 別掲載
- ・福祉サービスに関する苦情解決研修会(苦情解決責任者) 別掲載
- ・第三者評価研修 別掲載

キ) 地域福祉活動者

民生児童委員研修(5コース)

- ・新任民生児童委員研修 別掲載
- ・中堅民生児童委員研修 別掲載
- ・主任児童委員研修(2回) (受講者数 335名)
- ・民生児童委員協議会会長研修 別掲載
- ・児童委員研修 別掲載

④福祉職員生涯研修指導者の養成

ア 生涯研修講師スキルアップ研修 新規 <共同募金配分金事業>

期日 4月19日～20日 受講者数 20名

イ 生涯研修講師養成研修への派遣

期日 4月23日～25日

場所 全国社会福祉協議会 中央福祉学院

派遣者 金山町社会福祉協議会 事務局長 加藤ゆき

(2) 介護実習・普及事業の実施

①介護研修事業検討委員会の開催

第1回

期日 10月5日

場所 福島県男女共生センター（二本松市）

内容 ア 平成22年度事業実施状況（中間）報告について
イ 平成22年度事業（下半期事業）の実施計画等について
ウ 「介護の日記念フォーラム2010」の運営について

第2回

期日 3月2日

場所 福島県男女共生センター（二本松市）

内容 ア 平成22年度事業実施状況（中間）報告について
イ 講座・研修アンケート結果について
ウ 平成22年度「市町村等における住民を対象とした介護講座等
実施状況調査」結果報告について
エ 平成23年度事業実施計画について

②県民介護講座の開催

- ア 初級介護講座（受講者 46名）
イ 介護セミナー（「介護の日記念フォーラム2010内」で実施）（受講者 300名）
会場 ビッグパレットふくしま
内容 講演「笑う介護士に学ぶ ～未来の介護～」
講師 笑う介護士 袖山 卓也氏
ウ 認知症介護セミナー（「未来館フェスティバル2010」内で実施）（受講者 169名）
会場 福島県男女共生センター
内容 講演「認知症って何ですか？ー基礎知識とその対応を学ぶー」
講師 福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座
助協・医局長 小林 直人氏
介護体験発表「認知症の人と介護をしている家族の気持ち」
～地域住民の方々へ伝えたいこと～
発表者 公益社団法人 認知症の人と家族の会福島県支部
会員 米倉 みなと氏
エ 介護ワンポイント講座（受講者 305名）
オ オーダーメイド介護講座（受講者 454名）
カ 介護実技基本講座（受講者 262名）
キ 認知症キャラバン・メイト養成研修（受講者数 134名）
ク 認知症キャラバン・メイト交流会（受講者数 34名）
ケ 介護の日記念イベント（「介護の日記念フォーラム2010」）の開催
（来場者数 750名）

期日 11月11日

場所 ビッグパレットふくしま（郡山市）

内容 (ア) 福祉人材確保推進セミナー（受講者 170名）
「介護の一步は思いやり 老いをイキイキ！
～介護する側も、される側も～」
フリーアナウンサー（介護番組司会者）小谷 あゆみ氏
(イ) 介護セミナー（再掲）（受講者 300名）
「笑う介護士に学ぶ ～未来の介護～」
笑う介護士 袖山 卓也氏
(ウ) 「福祉・介護就職フェア（介護就職デイ）（中通り方部）
（参加者 100名）」

(エ)「福祉機器展示・介護実技体験コーナー」

「救急法体験コーナー」

「安心・安全な住まいのリフォームコーナー」

※ 介護相談コーナー含む、来場者自由参加

(参加者 180 名)

③地域介護専門職員研修の開催

- | | | |
|---|---------------------|------------|
| ア | 介護講習等企画担当者研修 | (受講者 38 名) |
| イ | 地域支援リーダー（コーディネート）研修 | (受講者 34 名) |
| ウ | 相談援助面接研修（基礎編） | (受講者 44 名) |
| エ | 相談援助面接研修（応用編） | |
| オ | 福祉用具研修 | (受講者 21 名) |
| カ | 住宅改修研修 | (受講者 7 名) |
| キ | 排泄ケア研修 | (受講者 42 名) |

④介護講座に関する情報提供等

- ア 県民介護講座開催案内チラシの作成・配布（35,000 部・1,278 ヶ所）
- イ 総合社会福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」開催案内掲載による広報
- ウ 県社協及び福島県男女共生センターのホームページによる広報
- エ 福島民報、福島民友県政広報コーナーへの開催案内掲載
- オ 各市町村等における県民を対象とした介護講座実施状況の把握

⑤会議等への出席

- ア 平成 22 年福島県介護福祉士会総会
期日 平成 22 年 4 月 25 日（日）
場所 棚倉町保健福祉センター
- イ 国際福祉機器展（HCR2010）
期日 平成 22 年 10 月 29 日～30 日
場所 東京ビッグサイト（東京都）

⑥各講座・研修事業講師打合せ会の実施

- ア 福祉用具研修講師打合せ会
期日 平成 22 年 5 月 25 日（火）
場所 福島県男女共生センター
内容 21 年度研修の振り返りと 22 年度研修の進め方について
- イ 住宅改修研修講師打合せ会（第 1 回）
期日 平成 22 年 6 月 25 日（金）
場所 福島県男女共生センター
内容 21 年度研修の振り返りと 22 年度研修の進め方について
- ウ 「介護の日記念フォーラム 2010」福祉機器展示、実技体験コーナー
運営打合せ会
期日 平成 22 年 10 月 13 日
場所 福島県男女共生センター
内容 展示及び実技体験用福祉用具、機器のリストアップ
- エ 住宅改修研修講師打合せ会（第 2 回）
期日 平成 22 年 11 月 20 日
場所 福島県男女共生センター
内容 振り返りと 23 年度に向けてのプログラム編成について
- オ 地域支援リーダー（コーディネート）研修講師打合せ会（第 1 回）
期日 平成 22 年 11 月 20 日
場所 福島県男女共生センター
内容 前期研修の講義、演習の進め方について
- カ 地域支援リーダー（コーディネート）研修講師打合せ会（第 2 回）
期日 平成 22 年 12 月 4 日

場所 福島県男女共生センター
内容 前期プログラム内容の確認と調整について
キ 地域支援リーダー（コーディネート）研修講師打合せ会（第3回）
期日 平成23年1月14日
場所 福島学院大学駅前キャンパス
内容 後期プログラム内容の確認と調整について

10 社会福祉事業経営の支援

1. 社会福祉事業経営の支援

(1) 社会福祉事業等経営相談支援事業（福祉・介護人材マッチング支援事業と一体的に実施する。）

- ①社会福祉事業の経営課題の的確な把握と情報提供
- ②社会福祉事業経営相談支援事業の充実
 - ア 社会福祉施設経営者協議会等及び
部会・協議会との連携強化
 - イ 経営専門相談事業（再掲）
 - （ア）電話相談（ファクシミリ、電子メール含む）
 - （イ）来所相談
 - （ウ）施設・事業所への個別訪問相談
 - ウ 経営支援事業
 - （ア）ストレスマネジメント研修会の開催（2日）
 - （イ）広報講習会（応用編）（2日）

11 社会福祉施設等及び団体との連携と協働・支援

1. 社会福祉施設部会・協議会活動

(1) 児童福祉施設部会

- ①総会の開催 (5月14日 福島市)
- ②監事会の開催 (5月14日 福島市)
- ③定例会の開催 第1回 (10月18日 福島市) 第2回 (2月22日 福島市)
- ④職員研究会活動
 - ア 職員研究会総会 (4月16日 福島市)
 - イ 役員会 (3月4日 福島市)
 - ウ 各種行事委員会 (5月13日 郡山市)
 - エ 調査広報委員会 第1回 (6月11日 郡山市)
第2回 (10月26日 郡山市) 第3回 (2月23日 郡山市)
 - オ 職員研修会 第1回 (7月9日 会津若松市)
第2回 (10月29日 棚倉町) 第3回 (2月17日 福島市)
 - カ 心理職員等研修会 第1回 (5月27日 福島市)
第2回 (9月30日 福島市)
 - キ 事務職員等研修会 (8月26日 会津若松市)
 - ク 給食担当職員研修会 (11月4～5日 福島市)
 - ケ 施設視察研修会 (11月11～12日 愛知県)
 - コ 第30回施設交歓球技大会 (9月11日 白河市)
- ⑤聖マリア児童福祉基金の運営
児童養護施設児童の就学・就職のための助成事業の実施
助成決定額 550,000円 (7施設 22名)

(2) 老人福祉施設協議会

- ①総会の開催 第1回 (4月27日 郡山市) 第2回 (2月15日 郡山市)
- ②監事会の開催 (4月27日 郡山市)
- ③部会長・副部会長会議の開催 (4月21日 郡山市)
- ④役員会の開催 第1回 (5月21日 福島市) 第2回 (8月19日 福島市)
第3回 (10月25日 福島市) 第4回 (1月12日 福島市)
第5回 (2月15日 郡山市)
- ⑤研究研修委員会の開催 第1回 (5月11日 郡山市)
第2回 (6月3日 郡山市) 第3回 (7月9日 郡山市)
- ⑥在宅部会職員研修会 (安全運転講習会) の開催
 - [県北] 6月28日 参加者 17名
 - [県中] 6月14日 参加者 21名
 - [会津] 6月5日 参加者 18名
 - [相双] 6月24日 参加者 14名
- ⑦老協ふくしまミーティングの開催
 - 期 日 8月24日
 - 会 場 郡山市「ビッグパレットふくしま」
 - 参加者 77名
- ⑧看護と介護のケア連携協働研修会の開催
 - 期 日 7月6～7日 ※特別養護老人ホーム連絡協議会との共催
 - 会 場 郡山市「ホテル華の湯」
 - 参加者 141名

(3) 障がい児者福祉施設協議会

- ①総会の開催 (5月19日 郡山市)
- ②監事会の開催 (5月19日 郡山市)
- ③役員会の開催 (3月1日 郡山市)
- ④調査広報委員会の開催 (8月5日 郡山市)
- ⑤研修委員会の開催 (8月2日 郡山市)
- ⑥健康管理等企画運営委員会の開催 第1回 (7月29日 郡山市)
第2回 (8月31日 郡山市)
- ⑦職員の福利厚生に関する取組み状況アンケートの実施
調査期間 9月4日～9月17日
回答数 88施設 (回答率86.3%)
- ⑧東北地区社会就労センター協議会研修委員会の開催 (4月16日 福島市)
- ⑨東北地区社会就労センター職員研修会の開催
期 日 11月4～5日
会 場 福島市「福島ビューホテル」
参加者 105名

(4) 母子生活支援施設部会

- ①総会の開催 (6月21日 福島市)
- ②監事会の開催 (6月21日 福島市)
- ③施設長等研修会の開催 (6月21日 福島市)

(5) 地域包括・在宅介護支援センター協議会

- ①総会の開催 (5月26日 郡山市)
- ②監事会の開催 (5月26日 郡山市)
- ③役員会の開催 第1回 (5月7日 郡山市) 第2回 (2月22日 郡山市)
- ④研修委員会の開催 (8月20日 郡山市)
- ⑤地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修会の開催
期 日 9月8日
会 場 郡山市「ビッグパレットふくしま」
参加者 88名
- ⑥東北ブロック研修会実行委員会の開催 第1回 (5月7日 郡山市)
第2回 (6月23日 郡山市) 第3回 (7月28日 郡山市)
第4回 (10月21日 郡山市)
- ⑦東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会会長等合同会議の開催
第1回 (7月1日 福島市) 第2回 (11月17日 福島市)
第3回 (3月9日 福島市)
- ⑧東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会の開催
期 日 11月17～18日
会 場 福島市「福島ビューホテル」
参加者 105名

(6) 県社会福祉施設経営者協議会

- ①総会の開催 (6月28日 郡山市)
- ②正・副会長会議の開催 第1回 (5月21日 福島市)
第2回 (2月14日 福島市)
- ③理事会の開催 第1回 (6月17日 福島市)
第2回 (2月14日 福島市)
- ④監事会の開催 (5月21日 福島市)
- ⑤選考委員会の開催 (6月17日 福島市)
- ⑦社会福祉施設経営者セミナーの開催 (6月28日 郡山市)
期 日 6月28日
会 場 ビッグパレットふくしま
参加者 60名

内 容 講演「社会福祉法人をめぐる動向と経営協の取り組み」

講師 全国社会福祉施設経営者協議会会長 高岡國士 氏

⑧研修会の開催

ア 社会福祉施設中堅管理職員研修会

期 日 11月16日

会 場 福島県総合社会福祉センター

参加者 47名

内 容 講義・演習「スーパービジョンの実際」

講師 FK研究グループ 代表 萬歳芙美子 氏

イ 社会福祉法人経理担当職員研修会

期 日 3月1日

会 場 ビッグパレットふくしま

参加者 267名

内 容 講義「社会福祉法人の新会計基準（案）について」

講師 公認会計士 遠藤和男 氏

⑨全国経営協ブロック会議への参加 (8月30日～31日 盛岡市)

⑩北海道・東北ブロックセミナーへの参加 (11月15日～16日 青森市)

⑪全国社会福祉施設経営者大会への参加 (11月24日～25日 宜野湾市)

(7) 義務教育教員免許志願者の介護等体験事業への協力

①体験受入可能施設数 88施設

②体験大学・人数 35大学・383名

11 社会福祉施設等及び団体との連携と協働・支援

2. 社会福祉施設団体等との連携・協働、支援

(1) 民生児童委員活動への支援

① 互助共励事業の実施

ア 互助給付の実施

公務傷害 0 件 一般死亡 12 件 配偶者死亡 16 件
一般傷病 68 件 災害見舞 2 件
退任慰労 1,633 件 (内、一斉改選によるもの 1,629 件)
合 計 1,731 件

イ 指定民児協への助成

(平成 21 年度～22 年度指定)

会津若松市第 6 方部民児協

会津若松市第 16 方部民児協

② 研修事業の実施

ア 会長研修

(9 月 16～17 日 飯坂ホテル聚楽) 参加者数 158 名

イ 中堅民生委員児童委員研修 (3 方部)

・中通り方部 (7 月 22 日 サンルート白河) 参加者数 195 名
・会津方部 (7 月 27 日 会津アピオスペース) 参加者数 98 名
・浜通り方部 (7 月 30 日 福島いこいの村なみえ) 参加者数 102 名

ウ 新任民生委員児童委員研修 (6 方部)

・南会津 (12 月 21 日 下郷町ふれあいセンター) 参加者数 72 名
・県北 (12 月 24 日 卸町総合センター) 参加者数 262 名
・相双 (1 月 12 日 福島いこいの村なみえ) 参加者数 193 名
・県南 (1 月 14 日 サンルート白河) 参加者数 213 名
・会津 (1 月 20 日 会津アピオ) 参加者数 294 名
・県中 (1 月 26 日 ユラックス熱海) 参加者数 219 名

エ 児童委員研修

(2 月 28 日 ビッグパレットふくしま) 参加者数 481 名

(2) 県民生児童委員協議会

① 理事会

【第 1 回】 (5 月 25 日 福島市)

【第 2 回】 (11 月 26 日 福島市)

【第 3 回】 (1 月 31 日 福島市)

② 評議員会

【第 1 回】 (5 月 25 日 福島市)

【第 2 回】 (11 月 26 日 福島市)

③ 監事による監査 (5 月 17 日 福島市)

④ 会長・副会長会議

【第 1 回】 (5 月 12 日 福島市)

【第 2 回】 (6 月 9 日 福島市)

【第 3 回】 (11 月 25 日 福島市)

⑤ 活動企画部会

【第 1 回】 (4 月 28 日 福島市)

【第 2 回】 (8 月 3 日 福島市)

【第 3 回】 (11 月 5 日 福島市)

⑥ 主任児童委員活動研究委員会

【第 1 回】 (8 月 3 日 福島市)

【第 2 回】 (1 月 17 日 福島市)

- ⑦「重点活動方策」に対する意見交換会
 - 【県北方部】（8月25日 福島市）
 - 【南会津方部】（8月31日 下郷町）
 - 【相双・いわき方部】（9月2日 浪江町）
 - 【県南方部】（9月6日 白河市）
 - 【県中方部】（9月8日 郡山市）
 - 【会津方部】（9月13日 会津若松市）

(3) 県保育協議会

- ①正副会長会議（4月22日 福島市）
- ②理事会（5月11日 福島市）
- ③評議員会（5月11日 福島市）
- ④第59回北海道・東北ブロック保育研究大会実行委員会
（6月14日 6月26日 郡山市）
- ⑤第59回北海道・東北ブロック保育研究大会（新規）
（7月14日～16日 郡山市 参加者786名）

(4) 県総合社会福祉センター管理運営委員会

- ①理事会 第1回（5月25日 福島市） 第2回（8月30日 福島市）
第3回（1月25日 福島市）
第4回（2月28日 福島市）
- ②監事会（5月19日 福島市）

(5) 東北地区里親会連絡協議会

- ①理事会（7月24日 岩手県花巻市）
- ②東北地区里親研修会（7月24日～25日 岩手県花巻市）
- ③会長表彰の実施（受賞者12名）

(6) 社会福祉施策促進委員会

- ①委員会（9月3日 福島市）
- ②要望活動
 - ア 各政党要望聴取会（9月10日） イ 県保健福祉部（10月6日）
- ③要望に係る県保健福祉部との個別懇談会
 - ア 地域福祉分野（10月28日） イ 障がい福祉分野（10月29日）
 - ウ 児童福祉分野（10月28日）

(7) 福島県認知症グループホーム連絡協議会

- ①情報交換会

12 福祉従事者の福利厚生推進

1. 社会福祉事業施設団体職員共済事業

(1) 運営委員会の開催

①第1回(5月12日) ②第2回(9月14日) ③第3回(12月13日)

(2) 共済事業加入・退会状況 ※<>内は昨年同期実績

①掛金納入事業所数(累計) 247 法人・団体<239 法人・団体>

②加入者数(累計) 10,378 人<10,009 人>

③新規加入者 1,193 人<1,290 人>

④退会者 824 人<756 人>

(3) 給付事業の実施

①退会給付金

件数: 824 件 <756 件>

金額: 824,054 千円 <759,962 千円>

②結婚祝金

件数: 281 件 <291 件>

金額: 5,620 千円 <5,820 千円>

③出産祝金

件数: 407 件 <401 件>

金額: 4,110 千円 <4,110 千円>

④弔慰給付金

件数: 16 件 <9 件>

金額: 320 千円 <180 千円>

⑤傷病見舞金

件数: 19 件 <14 件>

金額: 19 千円 <140 千円>

⑥災害見舞金

件数: 2 件 <1 件>

金額: 40 千円 <20 千円>

(4) 資金貸付事業の実施

①一般資金

件数: 76 件 <62 件>

金額: 50,420 千円 <40,860 千円>

②住宅資金

件数: 0 件 <1 件>

金額: 0 千円 <4,500 千円>

(5) 事業の効果的实施

①事務説明会の実施

期 日 11月30日

会 場 ビックパレットふくしま

参加者 120 法人・団体 184 名

②「事務取扱いの手引き(平成22年度版)」の改訂・作成・配布(350部)

(6) 運用基本方針に基づく資産運用

①外部委託運用

ア. 運用実績

(ア) 指定運用信託 5,452,061,121 円

(イ) 特定運用信託 1,950,000,000 円

イ. 三菱UFJ信託銀行(株)からの運用状況報告の受理

(ア) 第4四半期(平成22年1月~3月末): 4月28日

(イ) 第1四半期(平成22年4月~6月末): 7月29日

(ウ) 第2四半期(平成22年7月～9月末): 10月22日

(エ) 第3四半期(平成22年10月～12月末): 2月2日

②契約者への運用状況の報告

「運用状況報告書」の送付(4月～3月 毎月1回)

(7) 会議・研修会等への参加

①全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会東北・北海道ブロック会議
(7月15日～16日 北海道札幌市)

②全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会全国大会
(11月4日～5日 沖縄県那覇市)

③全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会定時総会
ア. 第1回(6月10日 兵庫県神戸市) ※書面表決のみ
イ. 第2回(3月8日 兵庫県神戸市) ※書面表決のみ

2. 社会福祉施設職員等退職手当共済制度の事務受託

①各諸届の受理・内容確認・提出

②実務研修会の実施

期 日 11月30日

参加者 163名

③受託団体事務打合せへの参加

(2月4日 東京都)

3. 福利厚生センター事業の事務受託

(1) 会員交流事業の実施

①事業名 シルク・ドゥ・ソレイユ夢のスーパーサーカス『コルテオ』観劇ツアー
期 日 6月5日

会 場 仙台・新ビクトップ、ホテル大観荘

参加者 132名

②事業名 ホテルミラコスタに泊まるディズニーリゾート2日間の旅

期 日 6月27日～6月28日

会 場 ディズニーシー、ディズニーランド、ホテルミラコスタ

参加者 43名

③事業名 福島の自然で遊ぶ～高原リゾート日帰りプラン

期 日 7月20日～8月31日

会 場 ホテルプルミエール箕輪、裏磐梯猫魔ホテル

参加者 140名

④事業名 ディナーパーティー

期 日 9月13日～9月22日

会 場 県内18会場 のべ21回開催

参加者 280名

⑤事業名 うつくしま福島の名湯・秘湯に泊まる

期 日 9月11日～9月12日

9月25日～9月26日

会 場 御宿東鳳、野地温泉ホテル

参加者 4名

⑥事業名 東京イチオシ1泊2日の旅

期 日 10月30日～10月31日

会 場 築地場外市場、国会議事堂、赤坂サカス 等

参加者 35名

⑦劇団四季「マンマ・ミーア！」観劇ツアー

期 日 11月20日

会 場 アークホテル仙台、東京エレクトロンホール宮城、三井アウトレットパーク仙台港

参加者 74名

⑧ウィンター・リフレッシュ

期 日 12月24日～1月31日

会 場 箕輪スキー場、ホテルプルミエール箕輪、グランデコスノーリゾート

参加者 12名

(2) 提携企業の開発

①業務提携先の開拓

②提携内容の紹介

(3) 新規会員の加入促進

(4) 企画・情報会議の開催

①第1回(7月12日 福島市)

内容 ア 報告事項

(ア) 平成22年度福利厚生センター事業計画・経過報告

(イ) 福利厚生提携終了について

イ 協議事項

(ア) デイナーパーティーの開催について

(イ) 平成23年度福利厚生センター事業について

①第2回(2月14日 福島市)

内容 ア 報告事項

(ア) 平成22年度福利厚生センター事業報告

イ 協議事項

(ア) 平成23年度福利厚生センター事業計画(案)について

(5) 会議・研修会等への参加

①福利厚生センター全国会議(6月14日～15日、東京都)

(6) 家庭常備薬の斡旋(提携企業:大日商事株式会社)

①第1回(6月) 利用事業所数 81事業所

②第2回(11月) 利用事業所数 85事業所

13 組織・運営体制

1. 理事会、評議員会等の開催

(1) 会長・副会長会議

(2) 理事会

①5月24日

平成21年度事業報告、平成21年度一般会計及び特別会計収入支出決算報告、
規程の一部改正（案）、評議員の委嘱の同意

②9月27日

平成22年度事業中間報告、資産の運用状況、平成22年度一般会計及び特別会
計収入支出補正予算（案）、評議員の委嘱の同意、福島県総合社会福祉センタ
ー管理について

③12月24日

平成22年度事業中間報告、平成22年度一般会計及び特別会計収入支出補正予
算（案）、定款の一部改正（案）、新・活動推進計画（案）、評議員の委嘱の同
意

④3月23日（書面審議）

平成22年度一般会計及び特別会計収入支出補正予算（案）、諸規程の制定及び
一部改正（案）、平成23年度事業計画（案）、平成23年度業務委託及び受託事
業の契約、平成23年度一般会計及び特別会計収入支出予算（案）、評議員の委
嘱の同意

(3) 評議員会

①5月27日

平成21年度事業報告、平成21年度一般会計及び特別会計収入支出決算報告

②9月27日

平成22年度事業中間報告、資産の運用状況、平成22年度一般会計及び特別会
計収入支出補正予算（案）、監事の選任、福島県総合社会福祉センター管理に
ついて

③12月24日

平成22年度事業中間報告、平成22年度一般会計及び特別会計収入支出補正予
算（案）、定款の一部改正（案）、新・活動推進計画（案）

④3月23日（書面審議）

平成22年度一般会計及び特別会計収入支出補正予算（案）、諸規程の制定及び
一部改正（案）、平成23年度事業計画（案）、平成23年度業務委託及び受託事
業の契約、平成23年度一般会計及び特別会計収入支出予算（案）、理事及び監
事の選任

(4) 監事監査

①4月23日（予備監査）

平成21年度事業実施状況、平成21年度一般会計及び特別会計収入支出状況

②5月14日（本監査）

平成21年度事業実施状況、平成21年度一般会計及び特別会計収入支出状況

③12月9日（中間監査）

平成22年度事業（中間）実施状況、平成22年度一般会計及び特別会計収入支
出（中間）状況

(5) 公認会計士による会計指導

①12月14日

平成22年度一般会計及び特別会計中間会計指導

2. 財政基盤の確立

- (1) 一般会員の対象となる未加入事業所への積極的な加入依頼
一般会員数 975 会員
内訳：59 市町村社協、 906 施設・事業所 10 団体
- (2) 特別賛助会員への加入促進
特別賛助会員（寄付金） 314 会員 4,680,300 円
- (3) 寄付金
一般寄付金 27 件 113,033,917 円
- (4) 福祉団体との事務受託
県民生児童委員協議会及び県保育協議会との間で事務受託の契約を締結した。
- (5) 保険代理店事業、図書等斡旋などの収入財源確保に向けた積極的な取り組み
 - ①社会福祉関係図書の斡旋、販売
 - ②火災保険、生命保険等の斡旋
 - ③社協の保険、しせつの保険等の斡旋
 - ④自動車リースの斡旋

3. 事務局体制の確立及び経営改革に向けた検討

- (1) 効率的な事業実施に対応した事務局体制づくりの検討
- (2) 職場研修の実施（OJT、OFF-JT、SDS の推進）
- (3) 事業の継続性の検討
- (4) 財政面の検証

4. 北海道・東北ブロック会議の開催（幹事社協）

- (1) 社会福祉協議会・共同募金会事務局長会議 （7月9日 福島市）